

47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

長野県

松本市 カトマンズ市と介護分野での交流検討へ

2024/12 /03

松本市は介護分野での人手不足の解消を図るため、姉妹都市として提携しているネパールの首都、カトマンズ市との間で人材の交流を活発にできないか検討を進める方針です。松本市はネパールのカトマンズ市と姉妹都市の提携を結んでいて、先月12日から14日にかけて臥雲市長が現地を訪れて、バレンドラ・シャー市長と会談するなど交流を深めました。



〈外国人「共生」の実相〉 「地域残り求職」 半数未満

地方の外国人材、転出意向強く 技能実習生も流出懸念

2024/98 /05

地方の外国人材や留学生のうち、就職・転職時に今住んでいる地域に残りたいと望んでいるのは半数未満であることが民間調査で分かった。地方は大都市以上に人口減が深刻で、労働力確保には外国出身者が欠かせない。企業や住民と連携し、つなぎ留めを図る自治体の動きも出てきた。

外国人「共生」の実相・描けぬキャリア (下) 早すぎる就活に留学生困惑

「来日直後に開始」で足踏み 大学、積極支援が不可欠

2021年12月29日



就活講座で面接の練習をする留学生(10月、東京都新宿区)

3月まで私大の大学院に留学していた台湾出身の20代女性は12月、東京都内にある外資系企業への転職が決まった。

日本経済新聞社 日経電子版

外国人「共生」の実相・描けぬキャリア (下) 早すぎる就活に留学生困惑 - YouTube

長野・エフビー介護、専用シートで海外人材評価し賞与

2024/07 /09

エフビー介護サービスは技能実習に代わり2027年にも始まる新制度「育成就労」をにらみ、海外人材の賞与額を決めるための評価シートを自作した。新制度は同じ業務分野で転籍が可能となるため、待遇の魅力作りで就労の継続につなげる。エフビー介護は有料老人ホームや福祉用具レンタルの事業所を信越、北関東で約120カ所展開する。19年から技能実習生や特定技能外国人の採用を始め、足元ではベトナムやフィリピンなど5



深夜の作業でシャキシャキ感キープ 長野・川上村でレタス収穫最盛期

2024/07 /04

レタスの生産量が日本一の長野県川上村で、収穫が最盛期を迎えている。雨量が比較的少なく、寒暖差が大きい同村はレタスの生産に向いており、夏秋レタスの出荷量は全国の4割弱を占めるという。レタスはシャキシャキ感を保つため、気温が低いうちに収穫する必要がある。約4ヘクタールを作付けするJA川上そ菜販売専務の林博康さん（65）の畑では、午前1時ごろから家族3人と特定技能の外国人2人が投光器を使い、次々と刈り取ったレタスを逆さに並べ、選別しながらコンテナに詰めた。この日は約4千個を収穫した。収穫した畑は、刈り取った葉などを除き2回目の作付けに備える。



「外国人の入校断ることも」 運転免許試験は多言語に対応しても、 教官そろえられない教習所 「学べる環境なければ…」 切実な声も

2024/09 /20

長野県内で自動車の運転免許試験の多言語対応が進む一方で、試験を受ける前の教習などでは外国語に対応していない場合が多く、外国人からは依然として免許取得が難しい—との声が上がっている。日本語が得意ではない外国人が、試験に向けて交通ルールや運転技術などを学べる環境づくりが求められている。



長野市内の自動車教習所。免許取得を希望する外国人への対応が課題となっている

三幸福祉カレッジ：長野県補助事業【外国人介護職員研修】

三幸福祉カレッジ(は、この度、長野県の補助事業を活用し、外国人を雇用(雇用予定含む)している介護施設職員向けの「外国人受け入れ研修」と長野県内で働く外国人介護職員向けの「外国人技能向上研修」を開催いたします。この事業は外国人介護人材が県内の介護現場において円滑に就労・定着できるようにすること、また外国人介護人材受入施設における受入体制整備を推進することを目的としています。

2024/11 /20



多文化共生フェスティバル「千曲万博2025」に参加しました

2024/12 /02

1月26日(日)11:00～15:00、千曲市戸倉創造館で開催の「千曲万博2025」に参加しました。14の参加団体・ブースに、やさしい防災コーナー、こどもひろば、英会話体験教室、JICA講演会、環境映画会など盛り沢山の企画・内容で、大勢のご来場の皆さんをはじめ参加者各々が、出会い、ふれ合い、語らいのひと時を楽しみました。ANPIブースでは、恒例の風船アートと缶バッチ作成体験を行い、サンタ・プロジェクト募金にも多くのご協力頂きましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



【皇室コラム】「東南アジアとの架け橋に」 天皇皇后両陛下に 会って来日を決意したインドネシア人女性

2024/10 /25

去年の6月、インドネシアを訪問された天皇皇后両陛下と話をしたことで日本行きを決意し、この春から長野県松本市で働き始めたインドネシア人女性がいます。メリー・クリスティナさん（24）。長野県を中心にバスや鉄道を運行するグループの旅行部門「アルピコ長野トラベル」で働く研修スタッフです。去年のインドネシア訪問。両陛下はジャカルタ近郊の「ダルマ・プルサダ大学」を訪ね、日本語や日本文化を学ぶ学生10人と日本語で懇談されました。男子学生のひとりが好きなアニメを聞かれて「ナルト」と答え、天皇陛下が「私の名前はナルヒトです」「特に関係はないんですけど」と返され、笑いに包まれた懇談です



天皇皇后両陛下と話すメリー・クリスティナさん（2023年6月20日 イン



松本市内で働くメリー・クリスティナさん（撮影・井上茂男）

[【皇室コラム】「東南アジアとの架け橋に」 天皇皇后両陛下に会って来日を決意したインドネシア人女性（2024年10月5日掲載） | 日テレNEWS NNN](#)

じゃがいも収穫祭！！

2024/08 /05

技能実習生3人が植えたじゃがいもがとうとう収穫を迎えました！

ヤードの隣で畑を作り細々とやっていましたが
いざ収穫してみるとかなりの量！！他にも植えてある野菜がまだまだあるので今後も楽しみ♪
仕事に農業にがんばれ！！

